

(2) 評価方法(案)

評価の方法(案)について、以下の2案を示す。

<p>(案1)</p> <p>1. 便益計測による評価</p> <p>便益計測を実施する評価指標は、以下のとおり。</p> <p>【3. 事業の必要性・有効性に関する評価】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 10%;">評価内容</th> <th style="width: 80%;">考え方等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3-1</td> <td>交通事故の減少</td> <td>クルマ利用の減少に伴う交通事故発生確率の減少を評価(千円/年)</td> </tr> <tr> <td>3-2</td> <td>移動費用の節減</td> <td>クルマ利用の減少に伴う移動費用(=燃料費)の減少を評価(千円/年)</td> </tr> <tr> <td>3-3</td> <td>移動時間の短縮</td> <td>さくらやまなみバスの利用による移動時間の短縮を評価(千円/年)</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>環境改善</td> <td>クルマ利用の減少に伴うCO2排出量の削減を評価(千円/年)</td> </tr> <tr> <td>3-5</td> <td>消費金額の増加</td> <td>バス利用に伴う外出機会の増加による消費金額の増加を評価(千円/年)</td> </tr> <tr> <td>3-6</td> <td>健康増進</td> <td>バス利用に伴う徒歩時間の増加による医療費の削減を評価(千円/年)</td> </tr> <tr> <td>3-7</td> <td>教育関係経費の節減</td> <td>代替手段(=スクールバス)の運行経費の削減を評価(千円/年)</td> </tr> <tr> <td>3-8</td> <td>医療関係経費の節減</td> <td>代替手段(=医療用送迎バス)の運行経費の削減を評価(千円/年)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3-1~3-8までの便益の合計額</td> <td style="text-align: center;">□ (千円/年)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. その他定性的指標による評価</p> <p>【1. 事業効率に関する評価】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 10%;">評価内容</th> <th style="width: 80%;">考え方等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-1</td> <td>運行に伴う収益</td> <td>運行に伴う運賃収入や広告収入等</td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>運行に伴う費用</td> <td>年間の運行経費(一般的な経費、車両減価償却費)、1便あたりの運行経費(当該バス特有の経費を含み、車両購入費を除く)</td> </tr> <tr> <td>1-3</td> <td>輸送人員</td> <td>年間輸送人員、1便あたり輸送人員、平均乗車密度、1人あたりの乗車距離</td> </tr> <tr> <td>1-4</td> <td>損失補てん</td> <td>利用者1人あたりの税金投入額、年間の収支、1便あたりの収支</td> </tr> </tbody> </table> <p>【2. サービス等に関する評価】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 10%;">評価内容</th> <th style="width: 80%;">考え方等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-1</td> <td>利用特性</td> <td>利用者属性、利用目的、地域間流動、利用時間帯</td> </tr> <tr> <td>2-2</td> <td>バスに対する満足度</td> <td>現時点におけるサービスレベルを評価(=対利用者)</td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>バスに対する認知度</td> <td>現時点におけるバスの認知度を評価(=対非利用者)</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価内容	考え方等	3-1	交通事故の減少	クルマ利用の減少に伴う交通事故発生確率の減少を評価(千円/年)	3-2	移動費用の節減	クルマ利用の減少に伴う移動費用(=燃料費)の減少を評価(千円/年)	3-3	移動時間の短縮	さくらやまなみバスの利用による移動時間の短縮を評価(千円/年)	3-4	環境改善	クルマ利用の減少に伴うCO2排出量の削減を評価(千円/年)	3-5	消費金額の増加	バス利用に伴う外出機会の増加による消費金額の増加を評価(千円/年)	3-6	健康増進	バス利用に伴う徒歩時間の増加による医療費の削減を評価(千円/年)	3-7	教育関係経費の節減	代替手段(=スクールバス)の運行経費の削減を評価(千円/年)	3-8	医療関係経費の節減	代替手段(=医療用送迎バス)の運行経費の削減を評価(千円/年)	3-1~3-8までの便益の合計額		□ (千円/年)	評価項目	評価内容	考え方等	1-1	運行に伴う収益	運行に伴う運賃収入や広告収入等	1-2	運行に伴う費用	年間の運行経費(一般的な経費、車両減価償却費)、1便あたりの運行経費(当該バス特有の経費を含み、車両購入費を除く)	1-3	輸送人員	年間輸送人員、1便あたり輸送人員、平均乗車密度、1人あたりの乗車距離	1-4	損失補てん	利用者1人あたりの税金投入額、年間の収支、1便あたりの収支	評価項目	評価内容	考え方等	2-1	利用特性	利用者属性、利用目的、地域間流動、利用時間帯	2-2	バスに対する満足度	現時点におけるサービスレベルを評価(=対利用者)	2-3	バスに対する認知度	現時点におけるバスの認知度を評価(=対非利用者)	<p>【3. 事業の必要性・有効性に関する評価】 「1. 便益計測による評価」で評価する3-1~3-8までを除く。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 10%;">評価内容</th> <th style="width: 80%;">考え方等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3-9</td> <td>バスの必要性</td> <td>税金投入の可否に対する考え方を評価</td> </tr> <tr> <td>3-10</td> <td>バス運行への協力可否</td> <td>バス運行への協力に対する考え方を評価</td> </tr> <tr> <td>3-11</td> <td>バスへの転換可能性</td> <td>バスへの転換可能性を評価(=対非利用者)</td> </tr> <tr> <td>3-12</td> <td>日常生活への影響</td> <td>バスによる日常生活への影響の有無を評価(=対通学生)</td> </tr> <tr> <td>3-13</td> <td>進路選択への影響</td> <td>バスによる進路選択への影響の有無を評価(=対高校生)</td> </tr> <tr> <td>3-14</td> <td>市施策への影響</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">総務局</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: top;"> 他部局が実施する施策への影響を評価 ・さくらやまなみバス事業の必要性について ・さくらやまなみバス事業の存在意義について (第2回委員会で意見聴取した内容等を評価) </td> </tr> <tr><td>産業文化局</td></tr> <tr><td>健康福祉局</td></tr> <tr><td>教育委員会</td></tr> <tr><td>土木局</td></tr> <tr><td>環境局</td></tr> <tr><td>都市局</td></tr> <tr> <td>政策局</td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【4. 事業効率向上等の取り組みに関する評価】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 10%;">評価内容</th> <th style="width: 80%;">考え方等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4-1</td> <td>地元の取り組み、思い</td> <td>利用促進協議会等を通じた地元の取り組み(利用促進・地域参画効果)、思いを評価</td> </tr> <tr> <td>4-2</td> <td>交通事業者の取り組み</td> <td>経費削減に向けた交通事業者の取り組みを評価</td> </tr> </tbody> </table> <p>【総合評価】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">「1. 便益計測による評価」と「2. その他定性的指標による評価」を基に、総合的に評価する。</p> </div>	評価項目	評価内容	考え方等	3-9	バスの必要性	税金投入の可否に対する考え方を評価	3-10	バス運行への協力可否	バス運行への協力に対する考え方を評価	3-11	バスへの転換可能性	バスへの転換可能性を評価(=対非利用者)	3-12	日常生活への影響	バスによる日常生活への影響の有無を評価(=対通学生)	3-13	進路選択への影響	バスによる進路選択への影響の有無を評価(=対高校生)	3-14	市施策への影響	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">総務局</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: top;"> 他部局が実施する施策への影響を評価 ・さくらやまなみバス事業の必要性について ・さくらやまなみバス事業の存在意義について (第2回委員会で意見聴取した内容等を評価) </td> </tr> <tr><td>産業文化局</td></tr> <tr><td>健康福祉局</td></tr> <tr><td>教育委員会</td></tr> <tr><td>土木局</td></tr> <tr><td>環境局</td></tr> <tr><td>都市局</td></tr> <tr> <td>政策局</td> <td></td> </tr> </table>	総務局	他部局が実施する施策への影響を評価 ・さくらやまなみバス事業の必要性について ・さくらやまなみバス事業の存在意義について (第2回委員会で意見聴取した内容等を評価)	産業文化局	健康福祉局	教育委員会	土木局	環境局	都市局	政策局		評価項目	評価内容	考え方等	4-1	地元の取り組み、思い	利用促進協議会等を通じた地元の取り組み(利用促進・地域参画効果)、思いを評価	4-2	交通事業者の取り組み	経費削減に向けた交通事業者の取り組みを評価
評価項目	評価内容	考え方等																																																																																																
3-1	交通事故の減少	クルマ利用の減少に伴う交通事故発生確率の減少を評価(千円/年)																																																																																																
3-2	移動費用の節減	クルマ利用の減少に伴う移動費用(=燃料費)の減少を評価(千円/年)																																																																																																
3-3	移動時間の短縮	さくらやまなみバスの利用による移動時間の短縮を評価(千円/年)																																																																																																
3-4	環境改善	クルマ利用の減少に伴うCO2排出量の削減を評価(千円/年)																																																																																																
3-5	消費金額の増加	バス利用に伴う外出機会の増加による消費金額の増加を評価(千円/年)																																																																																																
3-6	健康増進	バス利用に伴う徒歩時間の増加による医療費の削減を評価(千円/年)																																																																																																
3-7	教育関係経費の節減	代替手段(=スクールバス)の運行経費の削減を評価(千円/年)																																																																																																
3-8	医療関係経費の節減	代替手段(=医療用送迎バス)の運行経費の削減を評価(千円/年)																																																																																																
3-1~3-8までの便益の合計額		□ (千円/年)																																																																																																
評価項目	評価内容	考え方等																																																																																																
1-1	運行に伴う収益	運行に伴う運賃収入や広告収入等																																																																																																
1-2	運行に伴う費用	年間の運行経費(一般的な経費、車両減価償却費)、1便あたりの運行経費(当該バス特有の経費を含み、車両購入費を除く)																																																																																																
1-3	輸送人員	年間輸送人員、1便あたり輸送人員、平均乗車密度、1人あたりの乗車距離																																																																																																
1-4	損失補てん	利用者1人あたりの税金投入額、年間の収支、1便あたりの収支																																																																																																
評価項目	評価内容	考え方等																																																																																																
2-1	利用特性	利用者属性、利用目的、地域間流動、利用時間帯																																																																																																
2-2	バスに対する満足度	現時点におけるサービスレベルを評価(=対利用者)																																																																																																
2-3	バスに対する認知度	現時点におけるバスの認知度を評価(=対非利用者)																																																																																																
評価項目	評価内容	考え方等																																																																																																
3-9	バスの必要性	税金投入の可否に対する考え方を評価																																																																																																
3-10	バス運行への協力可否	バス運行への協力に対する考え方を評価																																																																																																
3-11	バスへの転換可能性	バスへの転換可能性を評価(=対非利用者)																																																																																																
3-12	日常生活への影響	バスによる日常生活への影響の有無を評価(=対通学生)																																																																																																
3-13	進路選択への影響	バスによる進路選択への影響の有無を評価(=対高校生)																																																																																																
3-14	市施策への影響	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">総務局</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: top;"> 他部局が実施する施策への影響を評価 ・さくらやまなみバス事業の必要性について ・さくらやまなみバス事業の存在意義について (第2回委員会で意見聴取した内容等を評価) </td> </tr> <tr><td>産業文化局</td></tr> <tr><td>健康福祉局</td></tr> <tr><td>教育委員会</td></tr> <tr><td>土木局</td></tr> <tr><td>環境局</td></tr> <tr><td>都市局</td></tr> <tr> <td>政策局</td> <td></td> </tr> </table>	総務局	他部局が実施する施策への影響を評価 ・さくらやまなみバス事業の必要性について ・さくらやまなみバス事業の存在意義について (第2回委員会で意見聴取した内容等を評価)	産業文化局	健康福祉局	教育委員会	土木局	環境局	都市局	政策局																																																																																							
総務局	他部局が実施する施策への影響を評価 ・さくらやまなみバス事業の必要性について ・さくらやまなみバス事業の存在意義について (第2回委員会で意見聴取した内容等を評価)																																																																																																	
産業文化局																																																																																																		
健康福祉局																																																																																																		
教育委員会																																																																																																		
土木局																																																																																																		
環境局																																																																																																		
都市局																																																																																																		
政策局																																																																																																		
評価項目	評価内容	考え方等																																																																																																
4-1	地元の取り組み、思い	利用促進協議会等を通じた地元の取り組み(利用促進・地域参画効果)、思いを評価																																																																																																
4-2	交通事業者の取り組み	経費削減に向けた交通事業者の取り組みを評価																																																																																																

(案2)

1. 費用便益分析による評価

費用便益分析を実施する評価指標は、以下のとおり。

【3. 事業の必要性・有効性に関する評価】

評価項目	考え方等
3-1	交通事故の減少 クルマ利用の減少に伴う交通事故発生確率の減少を評価(千円/年)
3-2	移動費用の節減 クルマ利用の減少に伴う移動費用(=燃料費)の減少を評価(千円/年)
3-3	移動時間の短縮 さくらやまなみバスの利用による移動時間の短縮を評価(千円/年)
3-4	環境改善 クルマ利用の減少に伴うCO2排出量の削減を評価(千円/年)
3-5	消費金額の増加 バス利用に伴う外出機会の増加による消費金額の増加を評価(千円/年)
3-6	健康増進 バス利用に伴う徒歩時間の増加による医療費の削減を評価(千円/年)
3-7	教育関係経費の節減 代替手段(=スクールバス)の運行経費の削減を評価(千円/年)
3-8	医療関係経費の節減 代替手段(=医療用送迎バス)の運行経費の削減を評価(千円/年)
B/Cの算出	ア. 便益(B) : 「3-1~3-8までの便益の合計(千円/年)」+ 「H23運行収入105,035(千円/年)」 イ. 費用(C) : H23運行経費 (171,679千円/年) 運行経費: 車両減価償却費を考慮した金額 ウ. 便益費(B/C): 「便益(B)」 / 「費用(C)」 = <input type="text"/>

2. その他定性的指標による評価

下記の評価項目の各指標について、A~Eの5段階評価を行い、さらに大項目【1】~【4】毎にA~Eの5段階評価を行う。

【1. 事業効率に関する評価】

評価項目	考え方等	評価
1-1	運行に伴う収益 運行に伴う運賃収入や広告収入等	A・B・C・D・E
1-2	運行に伴う費用 年間の運行経費(一般的な経費、車両減価償却費)、1便あたりの運行経費(当該バス特有の経費を含み、車両購入費を除く)	A・B・C・D・E
1-3	輸送人員 年間輸送人員、1便あたり輸送人員、平均乗車密度、1人あたりの乗車距離	A・B・C・D・E
1-4	損失補てん 利用者1人あたりの税金投入額、年間の収支、1便あたりの収支	A・B・C・D・E
評価		A・B・C・D・E

【2. サービス等に関する評価】

評価項目	考え方等	評価
2-1	利用特性 利用者属性、利用目的、地域間流動、利用時間帯	A・B・C・D・E
2-2	バスに対する満足度 現時点におけるサービスレベルを評価(=対利用者)	A・B・C・D・E
2-3	バスに対する認知度 現時点におけるバスの認知度を評価(=対非利用者)	A・B・C・D・E
評価		A・B・C・D・E

【3. 事業の必要性・有効性に関する評価】

「1. 費用便益分析による評価」で評価する3-1~3-8までを除く。

評価項目	考え方等	評価
3-9	バスの必要性 税金投入の可否に対する考え方を評価	A・B・C・D・E
3-10	バス運行への協力可否 バス運行への協力に対する考え方を評価	A・B・C・D・E
3-11	バスへの転換可能性 バスへの転換可能性を評価(=対非利用者)	A・B・C・D・E
3-12	日常生活への影響 バスによる日常生活への影響の有無を評価(=対通学生)	A・B・C・D・E
3-13	進路選択への影響 バスによる進路選択への影響の有無を評価(=対高校生)	A・B・C・D・E
3-14	市施策への影響 総務局 産業文化局 健康福祉局 教育委員会 土木局 環境局 都市局 政策局 他部局が実施する施策への影響を評価 ・さくらやまなみバス事業の必要性について ・さくらやまなみバス事業の存在意義について (第2回委員会で意見聴取した内容等を評価)	A・B・C・D・E
評価		A・B・C・D・E

【4. 事業効率向上等の取り組みに関する評価】

評価項目	考え方等	評価
4-1	地元の取り組み、思い 利用促進協議会等を通じた地元の取り組み(利用促進・地域参画効果)、思いを評価	A・B・C・D・E
4-2	交通事業者の取り組み 経費削減に向けた交通事業者の取り組みを評価	A・B・C・D・E
評価		A・B・C・D・E

【総合評価】

ア. 「1. 費用便益分析による評価」によるB/Cを評価する。

イ. 「2. その他定性的指標による評価」の【1】~【4】別の評価A~Eについて、下表のとおり点数化し、評価する。

評価指標	評価	備考
【1. 事業効率に関する評価】	5点・4点・3点・2点・1点	A:5点、B:4点、C:3点、D:2点、E:1点として、【1】~【4】を点数化する。
【2. サービス等に関する評価】	5点・4点・3点・2点・1点	
【3. 事業の必要性・有効性に関する評価】	5点・4点・3点・2点・1点	
【4. 事業効率向上等の取り組みに関する評価】	5点・4点・3点・2点・1点	
総点	<input type="text"/> 点 / 20点	

ウ. 「ア」と「イ」により、総合的に評価する。